

6-5 5 / 5時の指導計画

(1) 目 標

- ・ 故事成語の辞書的な意味と故事との関係に注意し、語感を磨くことができる。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 学習計画表で前時までの学習を振り返る。	学習計画表	○ワークシート⑤を読み返させ、故事成語の意味と合っているか再確認させる。	
	2 本時の目標を確かめる。			
起承転結の構成に沿った文章や4コマ漫画を読み合っ、いろいろな故事成語を知ろう				
展 開	3 <b>グループで作品を読んで評価し合い、様々な故事成語について知り、理解を深める。</b>	ワークシート⑤ 資料集 国語辞典 評価表	○グループでの作品交流を通して、故事成語の基になった故事を知ったり、詳しい意味やニュアンスを知ったりさせて、理解を深めさせるようにする。  ○「◎よくできている、○できている、△あまりできていない」の3段階で評価させる。  ○辞書の説明では、詳しい意味やニュアンスまでは伝わらない場合があることを知らせる。  ○グループの代表者を決める話し合いの中で、故事成語の意味とかかれた出来事のどの部分が	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【言②】 故事成語の辞書的な意味と故事との関係に注意し、語感を磨いている。</p> <p>【ワークシート⑤】 【評価表】【学習計画表】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>故事成語の辞書的な意味と故事から分かる詳しい意味やニュアンスについて書いている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>辞書的な意味だけでは使い方を間違えそうな故事成語を選び、その作品から分かる詳しい意味と一緒に考え、評価表に書くように促す。</p> </div>
	<p>[手順]</p> <p>1) 作品を読んで、「I 故事成語の意味と合っているか」、「II 故事成語を使えそうな場面を他にも想像できたか」について3段階で評価し、評価表に記入する。</p> <p>2) 国語辞典の意味と、作品から分かる故事成語の詳しい意味やニュアンスを書く。</p> <p>3) 推薦理由を明らかにして、グループの代表者を決める。</p>			

展 開	<p>4 学級で代表者の作品を発表し合い，基になった故事成語を考える。</p> <p>[手順]</p> <p>1) グループの代表者は基にした故事成語は隠して作品だけを発表する。</p> <p>2) 発表を聞いて，思い浮かぶ故事成語を発表する。</p> <p>3) 友達の発表を聞いて初めて知った故事成語や，初めて気付いた詳しい意味について評価表に記入する。</p>		<p>一致しているかを明らかにするよう指示する。</p> <p>◆作品を教材提示装置で投影し，起承転結に沿った文章や4コマ漫画を直接見せながら発表を聞かせる。</p> <p>○作品の発表は，故事成語は隠して行わせ，聞き手が思い浮かぶ故事成語を当てるというクイズ方式で行わせる。</p> <p>○故事成語を思い浮かべる根拠となったところも併せて発表させる。</p> <p>○辞書的な意味だけでは分からない故事成語の詳しい意味やニュアンスが理解できた故事成語について書かせる。</p>	<p>◇クイズへの取り組みが消極的な生徒に対しては，資料集を見合わせながら作品の発表を一緒に聞き，当てはまりそうな故事成語に見当を付けさせながらクイズに取り組ませる。</p>
ま と め	<p>5 学習計画表の「自己評価」の欄に本時の自己評価に合った顔マークを書き，「学んだこと(学習のまとめや感想)」を書いて本時の学習を振り返る。</p> <p>6 単元の学習を振り返り，身に付けた力やその力を活用できそうな場面について考え，学習計画表に記入する。</p>	学習計画表	<p>○初めて知った故事成語や，印象に残った故事成語について「学んだこと」の欄に記入させる。</p> <p>○単元の学習について指導者の評価を伝え，生徒が新しい課題や今後の学習の展望がもてるようにする。</p>	